

関係各位

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

令和 5 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号を送付します。

令和 5 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号

1 病害虫名 フシダニ科の一種(*Aceria* sp.)

2 発生作物 ニラ

3 発生確認の経過、発生状況

(1) 発生確認の経緯

令和 5 年 11 月、高知県南国市の施設ニラほ場において、ニラの葉に水疱症状や葉身の一部が湾曲する被害が発生した(写真 1、2)。被害株を観察すると、被害部位や葉鞘部にフシダニ科のダニの寄生が見られた(写真 3、4)。

採集したダニを農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、フシダニ科 *Aceria* 属に属するダニであることが判明した。しかし、ネギ属植物等への寄生が報告されているチューリップサビダニ(*Aceria tulipae* (Keifer))とは外部形態が異なり、別種であることが確認された。

なお、発生を確認したほ場は本年 6 月に自家育苗の苗を定植、10 月 20 日に 1 回目の刈り取りを実施しており、再生した葉で 11 月上旬にカスリ葉や葉の湾曲等の被害および本虫の寄生が確認された。12 月中旬までに、同市内の施設ニラほ場および香美市の施設ニラほ場でも本虫の寄生および同様の被害が確認されている。

(2) 他県での発生状況

本県で発生したフシダニ類と同一種であるかは不明であるが、本年 9 月に栃木県からニラを加害するフシダニ科の一種(*Aceria* 属に属するダニであるものの既知種とは異なる)の発生が報告されている。

4 形態・生態

(1) 形態

成虫は体長約 0.2 mm 程度で白色または淡黄色、半透明のうじむし型で、肉眼での観察は困難である。

(2) 生態

本種は、フシダニ科 *Aceria* 属に属するダニの内、国内のネギ属植物への寄生が確認されているチューリップサビダニとは外部形態が異なる別種であり、新種の可能性もあるため生態は不明である。

5 被害の特徴

葉縁や葉身に光沢を伴う水疱状の突起が形成されており、被害部位に触ると凸凹の隆起が確認できる。症状が進むと葉が湾曲、奇形化する。本虫は主に葉鞘部や葉の基部に寄生が見られることから、葉鞘部付近で発生した被害が葉の伸長に伴い上部に進展したと考えられる。

6 防除対策

- (1) 令和5年12月現在、本種に登録のある農薬はないので、本種の被害が確認されたら速やかに株ごと除去する。掘り取った株は肥料袋等に入れて一定期間密封し株を腐敗させた後に埋却するなど、完全に殺虫してから処分する。
- (2) 発生ほ場では、管理作業中に手や農機具などに付着して移動するおそれがあるので、作業後しっかり洗浄する。

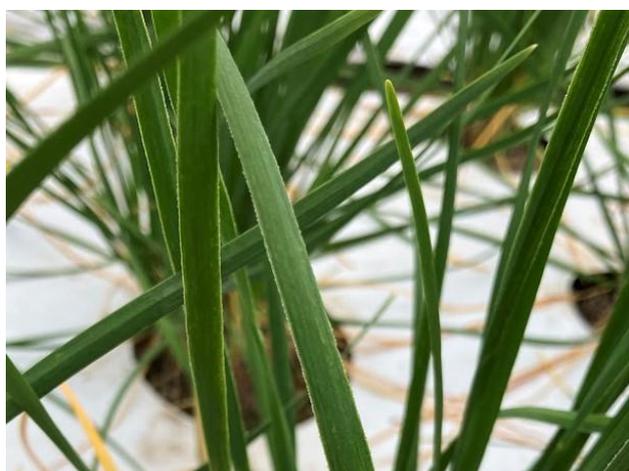


写真1 葉縁部の症状



写真2 葉身の被害



写真3 ニラ葉(基部)に寄生するフシダニ類



写真4 フシダニ類(成虫)

お問合せは、病害虫防除所 (TEL : 088-863-1132) または環境農業推進課 (TEL:088-821-4861) まで